

保護者の皆様へ

■あそびを創る力を

現在の子どもたちは普段、何をして遊んでいるかご存知ですか。2018年に行われたある調査によると「普段何をして遊んでいますか」という質問に対して、小学校低学年から4年生ぐらいまでは遊具遊びや鬼ごっこなど、外遊び、体を使った遊びが上位を占めますが、5,6年生になると家庭用ゲームで遊ぶと答える子供が1位にのぼるという調査結果があります。

「普段、何をして遊んでいますか」

| 小学3～4年生 TOP5 | | | 小学5～6年生 TOP5 | | |
|--------------|----------------------------|--------|--------------|----------------------------|--------|
| 1位 | 遊具遊びや鬼ごっこ・かくれんぼ | 53.5% | 1位 | ゲーム(家庭用) | 48.5% |
| 2位 | ゲーム(家庭用) | 49.0% | 2位 | ゲーム(携帯用) | 各46.0% |
| 3位 | ゲーム(携帯用) | 45.0% | | スマートフォン・携帯電話・タブレット端末・パソコン | |
| 4位 | おもちゃで遊ぶ(ごっこ遊び・ままごと含む) | 各43.0% | 4位 | 球技(サッカー、バスケットボール、ドッジボールなど) | 42.0% |
| | 球技(サッカー、バスケットボール、ドッジボールなど) | | 5位 | お買い物 | 41.0% |

2018年4月 バンダイ こどもアンケート「小中学生の“遊び”に関する意識調査」900人を対象

「誰かの作った物やゲームで遊ぶ」という完成品を使って遊ぶ事ばかりに慣れてしまうと、遊び道具や遊びそのものは自分で創り出すことができるという気づきを得る機会が失われてしまうかもしれません。

本来子供は自分で想像して遊びを作り出せるものです。幼い頃に紙を使った工作や粘土を使ったあそびなど、自分で創り出す遊びを経験している子供も多いでしょう。

動画作成は紙や粘土を手にもって動かしていた遊びを、動画として作品化することができるのもです。

動画を自分の手で創り出すことができる。完成品で遊んでいるだけでは味わえないその体験と気づきは、将来子どもたちが今までにないものを生み出す力になります。